

まず、「六月の花嫁」ということについてお話をしたいと思います。

英語では「ジュンブライド」というふうに言われますが、六月に結婚すると幸せになれるという言い伝えのことであります。もともとは、ヨーロッパから広まった考えであります。

六月は、天気がよくて過ごしやすい季節だったため、結婚式を挙げる人が多くいたのであります。また、結婚や家庭を守る女神が六月を守っているという言い伝えもあります。そのため、六月に結婚した人は幸せになれると考えられてきたのであります。

日本でも人気がありまして、多くの人がこの時期に結婚式を行っているのであります。六月は日本では梅雨の時期でありますが、それでも多くの人たちに六月が選ばれているということです。

次は、時の記念日についてお話をしたいと思います。

います。

この記念日は、時間というものの大切さを考え、時間を守る習慣を広めるために設けられたものであります。六月十日とされていますが、その日は、日本で初めての時計が時を知らせた日であるということでもあります。

学校や会社では、時間を守ることや生活リズムを見直すきっかけの日として知られているところでもあります。

私たちは、毎日、時計を見ながら生活をしていきます。ともすれば、それが当たり前のことのように感じてしまうこともあるのであります。

ぜひ、時の記念日には、家族みんなで時間というものの大切さや一日の過ごし方について、いろいろと話し合っていただいて、毎日の生活を見直すきっかけにしていきたいものになります。(了)

空読み用

(5級・3級)

一分間

5級・一二〇字
3級・二四〇字

最初のお話をします。

先日、けがをしてしまいました。そして、その治療のために、近くの病院にしばらく通うことになりました。待合室には、大人^⑤に交じって、子供たちもたくさん来ていました。恐らく、クラブ活動をしているときや遊んでいるときに足をひねったりしたのでしょう。^{⑤③}

そのときに気がついたことがあります。彼らは、順番が来て名前を呼ばれても、返事をしないのであります。それは、恥ずかしいとか、いろいろな理由があるのかもしれませんが、しかし、こういうところからも人間関係というものは始まっているのでありますから、私は残念に思いました。^③